



羽地中学校
学校だより 152号
せいりゅうおおかわ
H30.12.25

二学期が終業

長い二学期も今日で終業式です。二学期の授業日数は、81日。台風25号の接近により10月5日(木)が臨時休校になるほど、今年は多くの台風が接近しました。

台風24号・25号の影響で停電が続き、制服の洗濯が出来なかったり、テストを延期するなど、予定どおりにいかなかった場面もありました。また、2018年は、自然災害や事件・事故が多かった年でした。12月なのに気温が28℃にも上がる日もあります。気温が安定せず、花の苗を上手く育てることが難しくなってきました。

二学期は、学校の大きな行事である合唱コンクールをみんなで力を合わせて成功させ、3年の修学旅行、2年の職場体験学習、1年のシチマントル地域学習、平和学習や福祉体験を充実させた取組を展開できました。

スポーツでは、国頭村長杯での野球部いきなり優勝、琉球新報杯ソフトテニス女子優勝・1年準優勝、おきぎん杯ジュニア陸上大会でR・Nさんが優勝、久志駅伝大会では堂々の3位、続く地区陸上大会では総合5位でトップを狙える位置に。

そして、地区駅伝大会では男子2位、女子4位で、男女アベック県大会出場を勝ち取りました。生徒会では、リーダー研修会で初の防災体験、また、学級あいさつ運動の展開やユニセフ募金も継続した取組で頑張りました。

地区中文祭では、琉舞にダンス、リズムダンス、獅子舞と大活躍の羽地中でした。高円宮杯英語弁論大会では、3年のA・Tさんが地区代表出場、また、NHK放送コンテスト朗読部門で最優秀賞を受賞し、日頃の専門委員会活動が実を結びました。

ピリオオバトルやブラッシング教室、性・エイズ講演会は次年度の計画に受け継がれることでしょう。テストを正味50分の実施。吹奏楽部のシチマントルコンサートもとても良いコンサートでした。二学期も3年生がリーダーとして盛り上げてくれました。

三学期は学習や生活をまとめ、受験と卒業、進級とバトンの引き継ぎを行える学期です。心を新たに目標を立てる学期でもありません。冬休みは安全に行動し、安心して三学期に臨みましょう。

新しい執行部を求めて



生徒会執行部3年生は20日(木)、新しい生徒会執行部を構成する取組として、新執行部入りを希望する生徒10名の面接を実施しました。

面接者には、新生徒会長予定のAさんも参加して質問しました。「羽地中をどう良くしたいですか」「生徒会長をどのようにサポートできますか」「部活との両立はできますか」などの相次ぐ質問に、希望者は答えていかなければなりません。今年の生徒会テーマが言えない希望者もいて少し残念でしたが、しっかりと質問に答える希望者もいて、ほっとしました。

新しい生徒会長と執行部は三学期始業式に認証・確定します。

もう どうにも止まらない!



もう、どうにも止まらないKさん。成長ノート(家庭学習ノート)が7号に突入しました。恐ろしいほどのスピードで記録しています。うむ、やはり慣れてくるとスピードは職人技に近くなるか。どうやら彼は、号数だけでなく、家庭学習が好きでたまらなく、自分なりの勉強方法も得たらしい。Uさんは1年で初の2号目です。

